

平成 28 年度卒業生へ向けて

Today is the first day for the rest of your life.

もう、卒業か。ついに入學の日から今日となった。この季節は青春の 3 年間に君がやってきた偉大な出来事を振り返っても良い。また、ステージが変わり、これまでの在り方や生き方を大きく変えるエネルギーの発露の時間と捉えることも、我々日本人の最も伝統的な叡智の一つだと言える。

焼き物の話を紹介しよう。焼き物の一等最初は土塊である。土塊は地球の岩盤が岩石になり岩石が風化してできた地球を覆っている肌だ。そびえ立つ山でもなければ象徴的な形をした岩でもない。ただじっと人や生き物に踏まれ、植物に養分を吸い取られるだけのものである。

ある日人類は、自分たちがたき火をした後にそのおきの下に硬く固まった土を発見する。これが陶芸の始まりである。さらに、昔砂漠を旅するアラブのキャラバンが、これもたき火の後にできたガラスの粒を発見する。これが釉薬の始まりである。これらを機に人類は熱効率の良い窯を発明し、高温高火度による土の焼き締めを成し遂げ、さらに装飾や液漏れを防ぐための宝石のような美しい釉薬をつくり出すのである。つまり、化学変化を起こしその反応から硬い塊と美しい鉱物を再現してみせた。そう、陶芸は地球を再構築する作業に他ならないのである。

さて、君は今、G高の 3 年間で土塊からどの程度の鉱物に輝いたのだろうか。この 3 年間で教師や友からどの程度の情熱を受けどのような化学変化を起こしたのだろうか。

現在、世界はテロや移民・難民問題、グローバル化もまだ混沌の域を脱しておらず、将来に夢や希望を簡単には抱けない時代になりそうである。しかし、夜明けの来ない夜はない。どんな状況でも大事なものを見失うことなく、自分を高める努力を続けることで、自ずと「人は知らず知らずのうちに、最良の人生を選択しながら生きている」ことにつながると信じている。ちなみに英語では障害を有する人々を指す言葉を handicapped ではなく The challenged が多く用いられているという。「神様から挑戦すべき課題や才能を与えられた人」という意味が込められているようだ。

君も知っているとおり、化学変化のための最も大切な条件は熱と時間だ。ハンデを負ったのではなく挑戦するというプラス思考とチャレンジ精神を熱に、持続して努力することを時間に喩えれば、これからの君の人生の歩みに違いが出てくる。鉱物の中でも宝石として煌めくのだ。

一 飛躍を期待する。